



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 6月号

寄贈品コーナー
平塚の空襲と戦災
6月20日～7月30日

海軍技術研究所化学研究部の六番一号爆弾 (60 匁 (kg))



六番一号爆弾の弾尾・弾体・弾頭

昭和5年(1930年)、海軍は、平塚の海軍火薬廠用地の一部割愛を受け、海軍技術研究所化学研究部平塚出張所を開設します。昭和9年この出張所は化学研究部に昇格し本格的な特薬の製造実験工場となります。特薬というのは、いわゆる毒ガスのことで一号から四号の特薬が製造実験されます。このうち、三号特薬甲といわれたイペリットは、化学研究部六科で製造され、七科で化兵器とされました。その化兵器には、砲弾、爆弾、迫撃砲弾などがあり、陸用爆弾として製造された六番一号爆弾は、全体の重量が60匁、イペリット(17匁)を充填した特薬缶を装てんしたものです。この特薬缶には円錐形(弾尾)のものと中心管のある円筒形(弾体)の二重套管のものとの二つに分かれ、それぞれが鋼材により被われていました。この六番一号用爆弾は、資料によれば昭和19年には4,200発、同20年には600発がそれぞれ組み立てられています。

平塚八景の地学ハイキング 湘南平／霧降の滝・松岩寺

平塚市では、市制施行50周年を記念して、昭和57年4月に、平塚市の代表的な景観等を、市民の推薦のもとに「平塚八景」として制定しました。ここでは、そのうち、「湘南平」と「霧降の滝・松岩寺」について地学的な側面から紹介しましょう。

■湘南平

標高179mの湘南平は、「神奈川の景勝50選」にも選ばれ、家族連れやハイカーでにぎわいます。好天時には山頂展望台から360度の大パノラマが展望できます。西方には、伊豆の天城山、箱根火山の真鶴岬～白銀山・明星ヶ岳～金時山の箱根外輪山と、



湘南平から見た表丹沢と平塚市街

カルデラ内に二子山・駒ヶ岳・神山がそびえています。金時山の右には矢倉岳が富士山の南斜面の下に見えます。このあたりから右手の低い尾根筋が足柄山地です。右手に高度を増して丹沢の表尾根に続いています。塔ヶ岳～大山に至る表尾根の稜線に丹沢山の尾根が重なってスカイラインをなしています。大山の右手には鋸の歯のような大山三峯がみえます。この丹沢山地は南の海の海底火山として誕生し、本州に付加して山地となったものです。丹沢山地の右手には相模平野が広がり、市街地となっています。この平野は相模川が丹沢山地から土砂を運んで作られた平野です。冬の好天時には遠く、横浜のベイブリッジや新宿・池袋の高層ビルまで見通すことができます。

この湘南平は、なぜ平らなのでしょう。江ノ島に行くと、波打ち際に岩場が広がっています。この岩場は関東地震の際に、海底にできていた波食台が隆起したものです。湘南平が平らなのは、江ノ島と同じく、こうした地震により、かつての波食台が何度も隆起を繰り返し、徐々に高くなったものなのです。湘南平が波食台であった時期は13万年ほど

前であることがわかっています。テレビ塔の南側の遊歩道沿いにはこの波食台が露出しています。

■霧降の滝・松岩寺

松岩寺は、長い石段を登った台地の上であり、文亀2年(1502年)に建立し、開山され、曹洞宗の修行場であったといわれます。境内の不動堂には、国の重要文化財の不動明王立像が安置されています。寺の裏には不老水と呼ばれる湧水があります。この湧水はこの台地を作る段丘礫層の基底を流れる地下水が湧いているものです。ここからは、湘南平方面がよく望めます。ここから700mほど歩いたところにある霧降の滝は、丸い礫の入った礫岩に懸かっています。この地層は鷹取山礫岩層と呼ばれ500万年ほど前に、浅海に堆積した礫岩です。礫の種類をみると、白い斑点状に結晶がたくさん入った安山岩溶岩が多く、丹沢起源の凝灰岩の礫より径が大きいのがわかります。この南東にある鷹取山付近には、か



松岩寺の不老水の湧水

つて、鷹取山火山と呼ぶべき火山があり、そこからもたらされたようです。この滝の北側の尾根にある八塚古墳の石室も同じ岩石からできています。日本武尊が腰掛けたと言い伝えのある立石の巨岩は、この鷹取山火山を作る岩石からなります。

夏期特別展 「身近な地学ハイキング」

- 会期：7月19日(土)～9月15日(月)
- 内容：相模川・酒匂川流域のハイキングコースを、地学的な側面から写真と実物資料をもとに紹介します。

太陽の前をちょっと失礼..

水星の日面経過が観測されました

5月7日、ひさしぶりに水星の太陽面経過がありました。太陽系で最も内を周る水星が、太陽の手前を通過、地球から見たときにちょうど太陽と重なり、黒いシルエットして見られたものです。

当日、屋上では星を見る会と天体観察会を同時開催。平日の日中にもかかわらず20人ほどの方が、投影板の太陽像を見守りました。14時15分ころ、まるい太陽のふちに黒い虫食いのよう

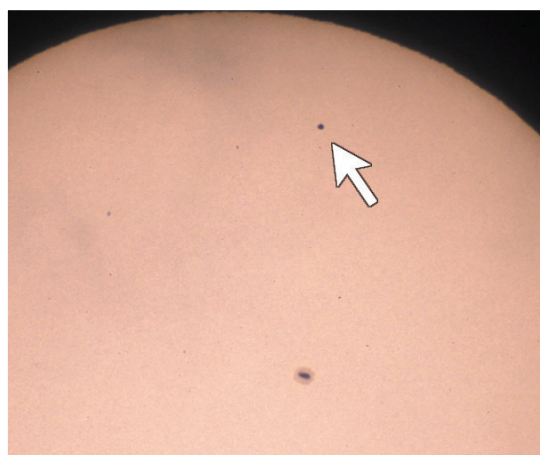


日面通過を見守る参加者

な場所が現われ、それはだんだん小さな黒い丸として、太陽面の中に侵入しま

した。16時ころになると太陽は

雲に覆われてしまい、以後の状況は観察できませんでしたが、水星が丸いということ、また太陽黒点と比較したときの黒味から、小さいながらも水星の存在感がじゅうぶん感じ取れました。



黒い点が日面通過中の水星

プラネタリウム 土曜日 11時の回に、こどもむけ投影をおこないます

幼稚園、保育園の団体が観覧しているプラネタリウム幼児向け投影を、土曜日午前中に公開します。

●こども向け投影番組 「だれがお日さまかくしたの？」

6月21日～7月12日 土曜日 11時

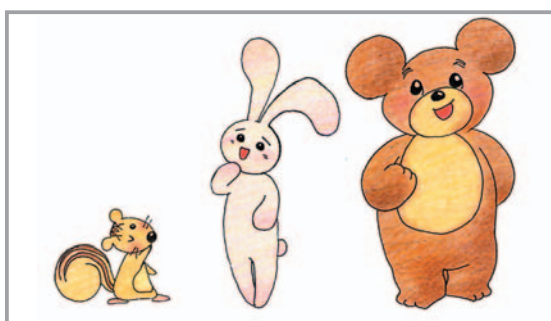
たいようとつき、あなたは どちらがとおくにあると おもいますか？

そのひみつは「にっしょく」。 くま、うさぎ、りすのおともだちとにっしょにしらべにいきましょう。

●一般投影 「太陽の動き・星の動き」

6月21日～7月13日土曜日 14時／日曜日 11時、14時

東の空に昇り、南を通り、西に沈む。この太陽の動きは、地球の自転によってもたらされているので、星も、動きは同じになります。ところが、星は北の空にもあり、その動きを他の方角と結びつけようとすると、ちょっと混乱してしまいますね。プラネタリウムで太陽と星の動きを同時に見比べて、日周運動を直感的に把握しましょう。



博物館カレンダー

2003年6月の行事

6	4	水	平塚社寺調査会	豊田
6	5	木	展示解説ボランティアの会	特研室
6	6	金	古文書講読会	講堂
6	7	土	地質調査会	科学室
6	8	日	民俗探訪会「五所神社祭礼」	鎌倉市
6	10	火	全館燻蒸休館（～6月19日）	
6	12	木	石仏を調べる会	真土
6	14	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
6	20	金	古文書講読会 ☆ 寄贈品コーナー「平塚の空襲と戦災」（～7月30日）	講堂 展示室
6	21	土	☆ プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」（～7月13日） 天体観察会 火星学習会	プラネ 特研室
6	22	日	水辺の楽校生きもの調べの会 古代遺跡を探す会	馬入 野外
6	26	木	石仏を調べる会 植物誌調査会 展示解説ボランティアの会	特研室 野外 講堂
6	27	金	古文書講読会	講堂
6	28	土	民具に親しむ会 ○ 「空襲と戦災を記録する会 自然の新聞を作る会 天体観察会 火星学習会	科学室 特研室 野外 講堂

☆：展示（無料）・プラネタリウム（観覧料） ○：申込制
◎：自由参加 無印：年間会員制

2003年7月の行事

7	2	水	平塚社寺調査会	特研室
7	3	木	展示解説ボランティアの会	特研室
7	4	金	古文書講読会	講堂
7	10	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講堂・野外 中原
7	11	金	古文書講読会	講堂
7	12	土	◎ 漂着物を拾う会 天体観察会 火星学習会	虹ヶ浜 特研室
7	13	日	水辺の楽校生きもの調べの会 古代遺跡を探す会 地質調査会	水辺の楽校 野外 科学室
7	16	水	裏打ちの会	科学室
7	17	木	展示解説ボランティアの会	特研室
7	18	金	古文書講読会	講堂
7	19	土	☆ プラネタリウム「未定」（～9月7日） ☆ 夏期特別展「身近な地学ハイキング」（～9月15日） ☆ 機関車写生展（社会教育課）（～7月27日）	プラネ 特研室 講堂
7	20	日	民俗探訪会「三増獅子舞」 ◎ ろばた話の会 ○ みんなで調べよう「セミ調べ」	愛川町 展示室 科学室
7	24	木	石仏を調べる会 植物誌調査会	中原 野外
7	25	金	古文書講読会 ○ シアトリカルプラネタリウム「宙ヲ飛ブ人ヲチヘ」公演 雑貨団 ◎ 星を見る会 天体観察会（～26日）	講堂 プラネ 屋上 屋上
7	26	土	民具に親しむ会 空襲と戦災を記録する会	科学室 特研室
7	27	日	相模川の生き立ちを探る会	富士山
7	30	水	◎ 自由研究相談会	科学室

<展示とプラネタリウム>

☆ 寄贈品コーナー「自然部門新資料」展
会期：5月1日（木）～6月8日（日）

☆ 寄贈品コーナー「平塚の空襲と戦災」展
会期：6月20日（金）～7月30日（水）

☆ 平成15年度平塚市史料展「平塚市埋蔵文化財速報展」
真田・北金目遺跡群、万田貝塚他、平成12年度以降のものを中心
に市内で出土した資料を展示・公開します。
会期：5月17日（土）～6月8日（日）
会場：特別展示室

☆ プラネタリウム「宇宙への道」
空想の世界だった宇宙旅行が現実のものになるまでには、長く険
しい道のりでした。その道を振り返ります。
投影日：土・日曜日の11時と14時
期間：6月8日（日）まで

☆ プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」
昼と夜の移り変わりを引き起こす地球の動きを、みかけの太陽、
星の動きから解説します。
投影日：土曜日の11時 日曜日の11時と14時

期間：6月21日（土）～7月13日（日）まで

☆ こども向け投影番組 「だれがお日さまかくしたの？」

6月21日～7月12日 土曜日 11時

<参加者募集>

◎ 漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたり
します。

日 時：6月14日（土）9時30分～11時

場 所：平塚虹ヶ浜海岸

参 加：自由（ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと）

●●全館くん蒸に伴う休館のお知らせ●●

・6月10日（火）から6月19日（木）まで、館内の
殺虫・消毒のため、くん蒸作業を行います。期間中
は館内には入れません。

・期間中は館へのご連絡、お問い合わせはなるべく電
話をご利用ください。（電話0463-33-5111）

・なにかとご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

あなたと博物館 29巻3号 通算318号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>